

東日本大震災聴覚障害者救援中央本部

救援ニュース 第2号 (2011. 4. 30 発行)

【発行責任者】東日本大震災聴覚障害者救援中央本部 事務副総括 中村慎策

〒162-0801 東京都新宿区山吹町130 SKビル8階 財団法人全日本聾唖連盟内

TEL:03-3268-8847 FAX:03-3267-3445 <http://www.jfd.or.jp/tohoku-eq2011/>

☆ 東北3県の状況は？

岩手県

- ・15日に宮古市役所を訪問し、障害者福祉相談員と被災聴覚障害者について情報交換を行った。
- ・ろうあ者はほとんど被害を受けていないが、手話サークル例会の会場が避難所になり、使えないため、皆が集まることができず、話ができないことのストレスがあるとのことから、市の通訳者にも報告し、会場確保の手配を依頼した結果、会場を確保でき、サークルを再開することになったとの報告があった。
- ・陸前高田市社会福祉協議会へ青森県防災士会より頂いた物資を届ける。
- ・県は、4月5日から29日まで、陸前高田市、大槌町、山田町に県職員、市町村職員、相談支援専門員。県ろうあ者相談員からなる支援チーム（3チーム）を派遣、ろうあ者相談員が聴覚障がい者の相談に対応している。

宮城県

- ・4月27日現在、協会会員304名中4名死亡、2名未確認、同賛助会員65名中死亡なし、9名未確認、宮通研会員154名中死亡なし、2名未確認、登録手話通訳者10名全員無事、上記以外（非会員等）434名中10名死亡、31名未確認。
- ・宮城県内の5市町（石巻市・多賀城市・亘理町・名取市・東松島市）から手話通訳派遣の依頼があり、救援宮城本部を含め、救援中央本部から8人派遣された。
- ・各地の被災者に電池、懐中電灯、靴、自転車、寝具などの物資を配布した。
- ・4/22～25の中央本部の医療（メンタル）チームによる一斉被災者聞き取り調査（全41件）が終了。今後、具体的な支援計画を作成する予定。
- ・4/27、石巻市社会福祉課・保健師と、緊急支援が必要な対象者について相談した。
- ・4/28、東松島市保健センターと要支援聴覚障害者への支援の相談のため訪問する。

福島県

- ・県内避難所及び県外避難先から、多くの者が戻ってくる。
現在、県内避難所に居る聴覚障害者／8人（全員非会員）

県外避難所	〃	／5人（会員2名・非会員3名）
県外親戚宅	〃	／7人（会員5名・非会員2名）
- ・原発事故での放射線数値により、20Km圏内が「危険区域」、30Km圏内が「屋内退避区域」となり、緊急時避難準備区域説明会には手話通訳者を派遣。原発立ち入り禁止区域を除き、浜通りの北（相馬市）と南（いわき市）の会員宅を手分けして車で訪問。

◎支援物資を渡すときに、1ヶ月経っても、当時の体験を鮮明に話してくれる。手話で吐き出すことも、心のケアに大きく繋がるものと感じる。



福島県の花
ネモトシクナゲ

☆被災地のろう学校の様子は？

地震から1カ月過ぎ、被災地の学校でいつもより遅れて、入学式、始業式が行われたというニュースが流されていましたが、ろう学校はどうしているのでしょうか。

救援中央本部の協力団体の一つである、全国聾学校校長会に様子を聞いてみたところ、被災地のろう学校の状況についての報告がありましたので、以下に紹介します。

岩手県立盛岡聴覚支援学校

内陸部にあるため、津波の被害はなく、壁面のひび割れが若干ある程度。予定より少し遅れて4月12日に始業式。翌13日に入学式を行い、子どもたちの元気な声が響いているそうです。

宮城県立聴覚支援学校

校舎等の破損は、建物を守るための隙間部分を中心にモルタルのはがれやひび割れは多数あるが、子どもたちの授業に支障のある箇所はわずか。4月21日から授業を再開し、25日からは通常の登下校時間で、放課後の部活動等も再開予定とのことです。

福島県立聾学校(郡山本校)

大地震発生当日、余震の続く中を校庭に子どもたちを集め、スクールバスの中で暖を取り、保護者の迎えを待った。12日、県教育委員会からの要請で原発事故による避難者の受け入れ準備。最多時で128名を受け入れ、全職員を挙げて組織的に誠意を持って対応した。13日避難者は全員別の場所へ移動。次に、校舎が全壊したあぶくま養護学校安積分校の児童生徒の受け入れ準備をし、18日に始業式・入学式も滞りなく進んだ。子どもの心のケアについて慎重に組織的・計画的に進めている。

福島県立聾学校(福島分校、会津分校、平分校)

大きな被害はなく、4月6日(平分校は15日)始業式・入学式を行い、順調である。



☆地域本部設置状況:37ヶ所(4月28日現在)

救援のための地域本部は、4月28日現在で37都道府県に設置されました。

未設置の地域においても、早く設置していただき、全国の仲間が一体となって救援活動に取り組めるようにしていきたいと思っておりますのでご協力をお願いします。

☆情報:「目で聴くテレビ」からラジオ放送の手話・字幕化放送実施

被災地では、FMラジオ局が身近な地元の生活情報を放送しており、これは携帯ラジオやカーラジオで広く聴かれています。「目で聴くテレビ」では、このラジオ放送を手話と字幕に変えて放送することしました。当面1週間の放送を計画していますが、地元放送局と協議をして、随時増やしていく予定です。

☆☆☆ 義援金のお願い ☆☆☆

被災地の聴覚障害者ら仲間の支援のために皆様のご協力をお願いします。

- ① 銀行：みずほ銀行 江戸川橋支店 普通預金 口座番号：1511276
名義：(財)全日本聾唖連盟 災害救援基金 代表 石野富志三郎
(ザイタンホクジンゼンニホウアルンメイ サカキョウエンキョウカクホウ イソノフジサヲウ)
※みずほ銀行内(本・支店間)での振込の場合、振込手数料は免除されます。
- ② 郵便振替：記号 00160-9-166840 名義：(財)全日本聾唖連盟
※通信欄に「東日本大震災の災害義援金」とご記入ください。

義援金総額 14,846,348円 (421件、2011年4月27日現在)

